

目標達成計画

作成日: 平成 28年 11月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	現在、「外部研修、プラスその後の資料の回覧」、「内部での勉強会」、「全体会議での職場での問題点の討議」、「啓発プリント配布」等、職員のスキルアップに繋がる事を目標に実践している。しかしながら、系列づけの弱い感じが払拭できない。施設(法人)独自の教育システムが確立できていない所以と思われる。又ブランディングの面からも意識づけの希薄さを感じる。	①なごみの鈴としてのブランディングを反映した教育システムの確立。 ②整理された認知症の理解。 ③現実的なグループワークの実施と現場での実践。	①法人単位での勤務年数を反映した社員研修の確立。 ②各種マニュアルの整備。 ③実践的なグループワークの実施。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。